

銀行の社会性を、まるっと格付け

FairFinanceGuide
Japan

化石燃料から再生可能エネルギー への転換に向けて

大手金融機関へのアプローチ

～フェア・ファイナンス・ガイドの取り組みを通じて～

国際青年環境NGO A SEED JAPAN

共同代表 土谷和之

A SEED JAPANのご紹介

特定非営利活動法人A SEED JAPAN

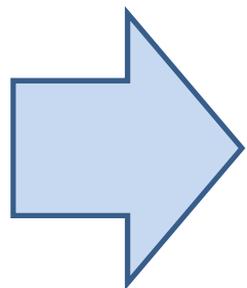
(英文名 Action for Solidarity, Equality, Environment, and Development: 青年による環境と開発と協力と平等のための国際行動)

- 1991年設立
- 国境を越えた環境問題とその中に含まれる社会的な不公正に注目し、より持続可能で公正な社会を目指す
- 市民団体・非政府組織(NGO)として、企業・金融セクターや政府に環境や社会に配慮するよう働きかける

金融セクターの影響力

- 2013年度末の日本における預貯金残高
- | | | | |
|------|-------|--------|--------|
| 銀行 | 639兆円 | (うち個人) | 419兆円) |
| 信用金庫 | 129兆円 | (うち個人) | 104兆円) |
| 郵貯銀行 | 177兆円 | | |

出典:総務省「日本の統計2015」第14章 金融・保険



- 日本の預貯金の総額は**900兆円**以上に上り、その影響力は絶大
- 預貯金の使われ方が、経済社会の潮流を形成する

特に、メガバンクの影響力は強い

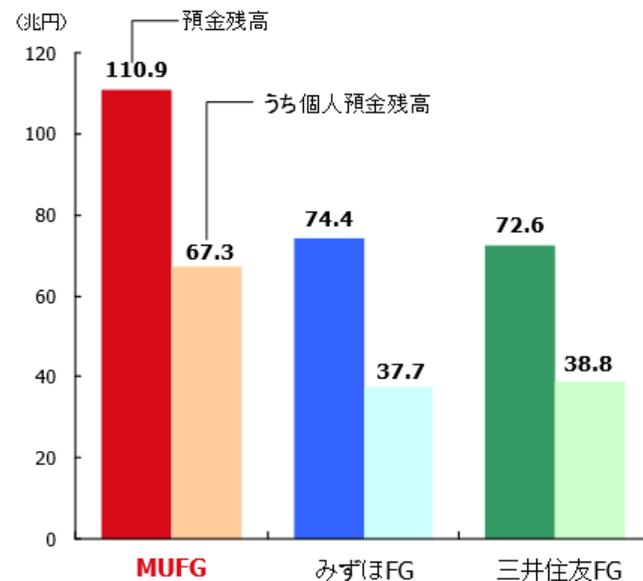
➔ 預金残額総額 約250兆円

強固な顧客基盤

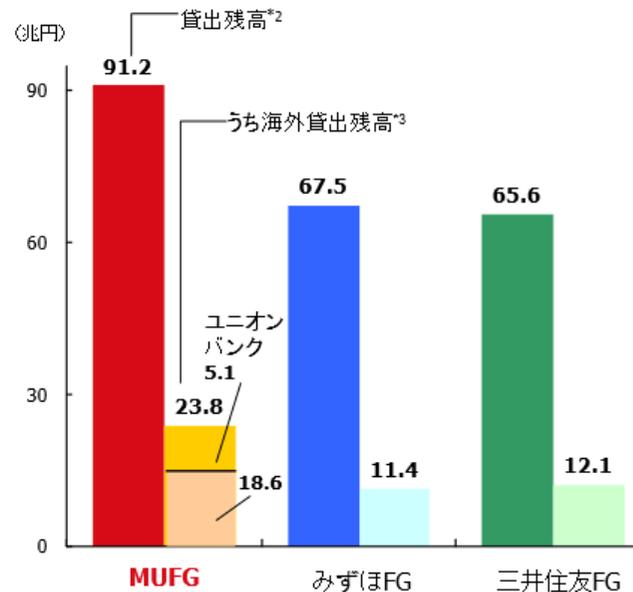


- 個人4,000万口座、法人50万社にのぼる圧倒的な顧客基盤
- 特に個人預金残高は67兆円と他の金融グループを凌駕。海外貸出残高でも大きく上回る

国内預金残高^{*1}



連結貸出残高



出所:各公表値に基づく(2013年3月末)

*1MUFG:三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行の単体合算、みずほFG:みずほ銀行、みずほコーポレート銀行、みずほ信託銀行の単体合算、三井住友FG:三井住友銀行単体

*2MUFG:MUFGの連結、みずほFG:みずほFGの連結、三井住友FG:三井住友FGの連結(各社信託勘定を含めず)

*3MUFG:三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行の単体合算にユニオンバンクを加えたもの、みずほFG:みずほ銀行、みずほコーポレート銀行、みずほ信託銀行の単体合算、三井住友FG:三井住友銀行単体、銀行勘定信託勘定合算ベース、海外店+オフショア勘定分

社会問題の資金源は銀行からの投融資である
ケースが、、、

投融資額約896億円



クラスター爆弾製造企業

※クラスター爆弾は無差別に面的な攻撃を行うための爆弾であり、犠牲者の多くが一般市民であることから、その非人道性が問題になっている

社会問題の資金源は銀行からの投融資である
ケースが、、

投融資額約15兆円

国内大手銀行
6グループ



化石燃料関連企業

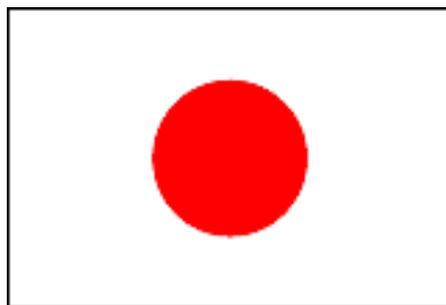
※一方、再生可能エネルギーへの投融資は約2兆円

**銀行の「社会性」を評価する
…フェア・ファイナンス・ガイド
(公正な金融のガイド)
が7ヶ国で始まる**

Fair Finance Guide に参画している 7ヶ国



オランダ(2009～)



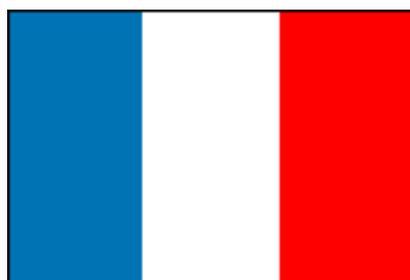
日本(2014～)



ベルギー(2015～)



スウェーデン(2015～)



フランス(2015～)



ブラジル(2015～)



インドネシア(2015～)

※2016年3月にドイツも参加！

※スウェーデン国際開発協力庁(Sida)の助成も受ける

日本での取り組み

- 2014年12月8日、Fair Finance Guide 日本版ウェブサイトをオープン
- 日本では3団体で共同 (A SEED JAPAN, PARC, JACSES)

The screenshot shows the homepage of Fair Finance Guide Japan. At the top left is the logo with the tagline '銀行の社会性を、まるっと格付け'. To the right are links for 'NEWS', '問い合わせ', a Facebook icon, and a search bar. Below this is a navigation menu with 'Home', '銀行のスコア', 'テーマ別スコア', and 'アクション'. The main content area features a large blue banner with the headline '日本初！ 銀行の社会性を格付け'. Below the headline is a dark grey box with text: '銀行の投融资方針を13テーマ、のべ228項目のスコアで徹底格付け。どの銀行がよりフェアな方針を持っているかチェックしてみましょう！'. A green button below this says '今すぐあなたの銀行をチェック' with a right arrow. To the right of the button is a photo of a young child with curly hair and a pink hair clip, looking surprised. Next to the photo is the text: 'え、わたしの貯金って、こんなことに使われてたの？'. Below the banner is a 'News' section with a link: '【12/9】Fair Finance Guide Japanウェブサイト・公開記念イベント | >もっと読む'. At the bottom, there is a section titled 'Fair Finance Guide Japan 2015 スコア一覧' with a table of scores.

Fair Finance Guideの目的

①銀行の社会性を「評価」(＝通信簿)

(「気候変動」「人権」等15テーマ別・各テーマ100点満点)



②預金者が、どの銀行がどれだけ「環境・社会に悪い企業・事業に投融資しない」という方針を掲げているかを知る



③銀行が社会問題に関心を持つ



④社会問題につながるお金の流れを変える

対象銀行(資産額上位7社)

三菱UFJフィナンシャル・グループ
みずほフィナンシャル・グループ
三井住友フィナンシャル・グループ

りそなホールディングス
三井住友トラストホールディングス

日本郵政
農林中央金庫

※今後、対象銀行の拡大も検討予定

銀行の評価方法のポイント

- 国際的なルール(国連が推奨するルール)等を基本とする
 - 「悪い企業・事業に投融資しない」という方針をもっていれば点数が高くなるように評価基準を策定
 - 銀行に評価結果を事前に送付した上で対話を実施
- ⇒ 一方的な評価ではなく銀行側も確認した結果

参考：国連グローバル・コンパクトの10原則

国連グローバル・コンパクトの10原則

人権		<u>原則1: 人権擁護の支持と尊重</u> <u>原則2: 人権侵害への非加担</u>
労働		<u>原則3: 組合結成と団体交渉権の実効化</u> <u>原則4: 強制労働の排除</u> <u>原則5: 児童労働の実効的な排除</u> <u>原則6: 雇用と職業の差別撤廃</u>
環境		<u>原則7: 環境問題の予防的アプローチ</u> <u>原則8: 環境に対する責任のイニシアティブ</u> <u>原則9: 環境にやさしい技術の開発と普及</u>
腐敗防止		<u>原則10: 強要・賄賂等の腐敗防止の取組み</u>

出典：国連グローバルコンパクトウェブサイト

評価項目例:「気候変動」

気候変動

1. 金融機関が自らの温室効果ガス排出削減目標を設定
2. 金融機関が投融資するエネルギー企業及びプロジェクトの温室効果ガス排出量を公開
3. 金融機関が投融資するすべての企業及びプロジェクトの温室効果ガス排出量を公開
4. 金融機関が投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出削減目標を設定
5. 金融機関が投融資先の企業による直接的な温室効果ガス排出量の公開を奨励
6. 金融機関が投融資先の企業による間接的な温室効果ガス排出量の公開を奨励
7. 金融機関が投融資先の企業による直接的な温室効果ガス排出量の削減を奨励
8. 金融機関が投融資先の企業による間接的な温室効果ガス排出量の削減を奨励
9. 金融機関が投融資先の企業による省エネの実施を奨励
10. 金融機関が投融資先の企業による省エネ製品の開発を奨励
11. 金融機関が投融資先の企業による低炭素経済の実現への支援を奨励
12. 金融機関が投融資先の企業による化石燃料から再生可能エネルギーへの転換を奨励
13. 金融機関が石炭火力発電を行う企業に関与しないこと
14. 金融機関が石炭採掘を行う企業に関与しないこと
15. 金融機関がタールサンドからの石油採掘を行う企業に関与しないこと
16. 金融機関が石油・ガス採掘を行う企業に関与しないこと
17. 金融機関が 550g-CO₂/kWh を超える CO₂ 高排出の化石燃料発電を行う企業に関与しないこと
18. 金融機関が投融資先の企業によるバイオ燃料の製造に際して、持続可能なバイオ燃料に関する円卓会議（RSB）の 12 原則の順守を奨励
19. 金融機関が投融資先の企業による世界自然保護基金（WWF）の Gold Standard 認証に基づく CO₂ 補償的投資を奨励
20. 金融機関が投融資先の企業による途上国のサプライヤー（主に農業）の気候変動への適応を可能にするプロジェクトを奨励
21. 金融機関が気候政策の弱体化を目的としたロビー活動を行う企業に関与しないこと
22. 金融機関が投融資先の企業による購買方針における気候変動関連基準の策定を奨励
23. 金融機関が投融資先の企業によるサプライヤー等との契約時の気候変動関連項目の設定を奨励

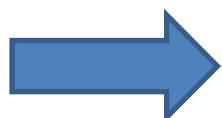
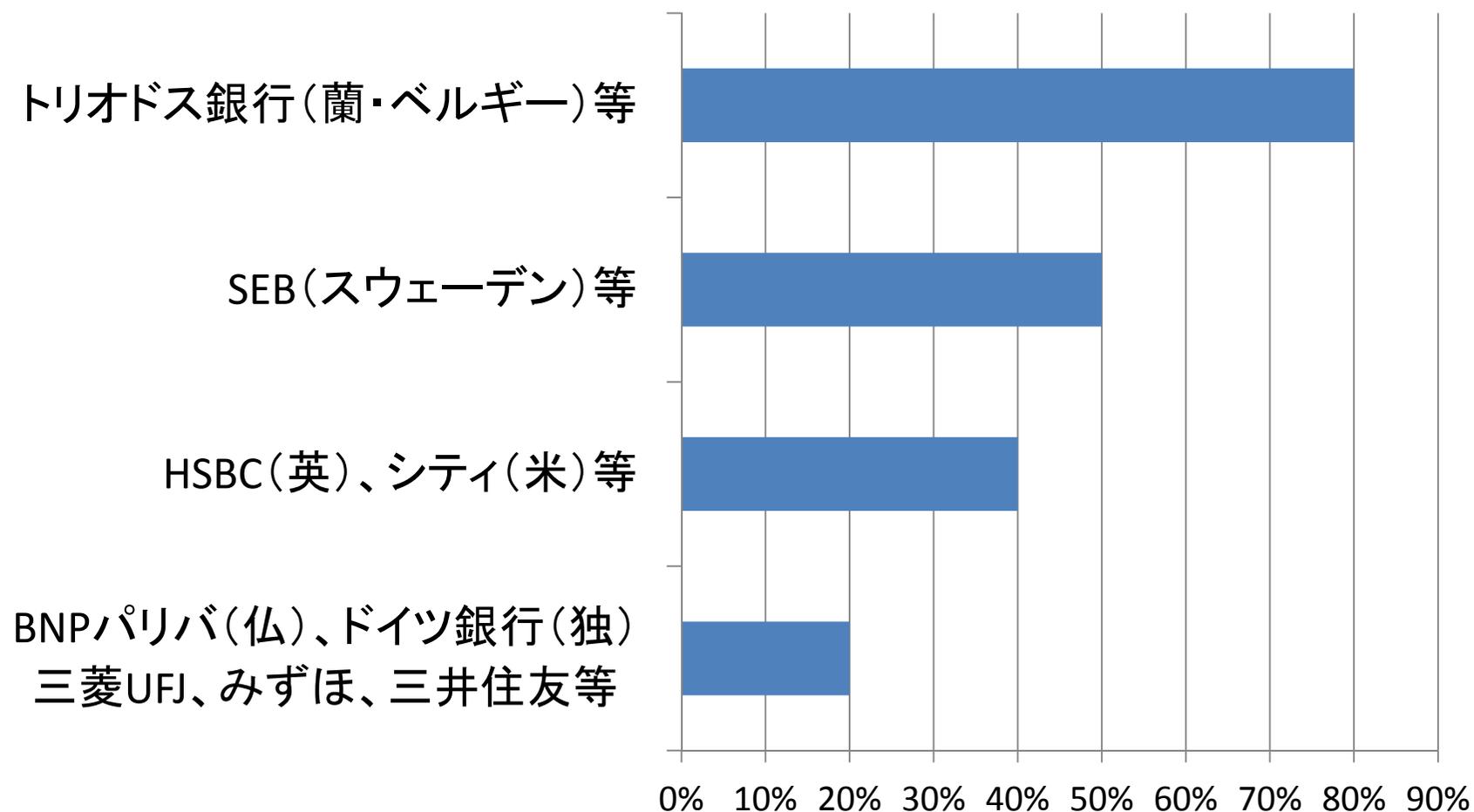
スコア結果(各100点満点中)前半

	三菱UFJ	みずほ	三井住友	りそな	三井住友 トラスト	日本郵政	農林中央金庫
総合	<u>21%</u>	<u>23%</u>	<u>22%</u>	<u>7%</u>	<u>17%</u>	<u>2%</u>	<u>2%</u>
気候変動	21	28	21	7	24	4	8
自然環境	40	40	40	5	9	0	0
人権	24	32	24	35	48	0	0
労働	52	52	52	15	36	0	0
健康	31	31	31	0	4	0	0
兵器産業	5	5	5	5	9	5	5
透明性	29	44	35	22	31	10	11

スコア結果(各100点満点中)後半

	三菱UFJ	みずほ	三井住友	りそな	三井住友 トラスト	日本 郵政	農林 中央 金庫
食	26	26	26	0	11	0	0
林業	17	17	17	0	10	0	0
漁業	0	0	0	0	8	0	0
鉱業	21	21	21	0	14	0	0
石油 ガス	25	25	25	0	15	0	0
発電 事業	19	19	19	5	15	0	0
税と 汚職	8	8	8	8	14	8	0
ボーナス	0	0	0	0	0	0	0

他国の金融機関のスコア水準



日本の銀行は、「悪い企業・事業に投融資しない」という明確な基準を策定していない、あるいは公開していないため、低水準に留まる

もっと厳しい投融資方針をもつように、 銀行にメッセージを、、、！

ウェブ開設以来、240通を超えるメッセージを銀行へ送信。7ヶ国合計では約2万5000通。

【寄せられたメッセージの例】

- 「環境破壊・人権侵害に使われないようにしてください」
- 「兵器産業への投融資をやめてほしい」
- 「これ以上原発にお金を流すのはやめていただきたい」

銀行へメッセージを送ろう！

この銀行にメッセージを送る

三菱UFJ

お名前

メールアドレス

メールアドレスを銀行担当者へ送付する以外に第三者に提供することはありません。

メールアドレス(確認用)

確認のためのメールアドレスを再入力してください。

メッセージ

ご担当者様

※以下で自動的に入力されている文章はあくまで例文です。ご自由にメッセージをご記入の上、ご送信ください。

貴行の投融資方針に対する評価をFair Finance Guide(<http://fairfinance.jp/>)で拝見しました。そして、そこでの低い点数をみて預金者として驚きました。

より社会性に配慮した方針を策定し、私のお金が環境破壊・人権侵害に使われないようにしてください。

敬具

銀行が方針を具体的に改善

<りそなグループ>

- ・人権、環境に関する投融資方針を改善
(2015年8月)

<三井住友トラストホールディングス>

- ・赤道原則(環境・社会に配慮した投融資の
国際ルールの一つ)に署名(2016年2月1日)
→署名後は国内トップのスコアに!

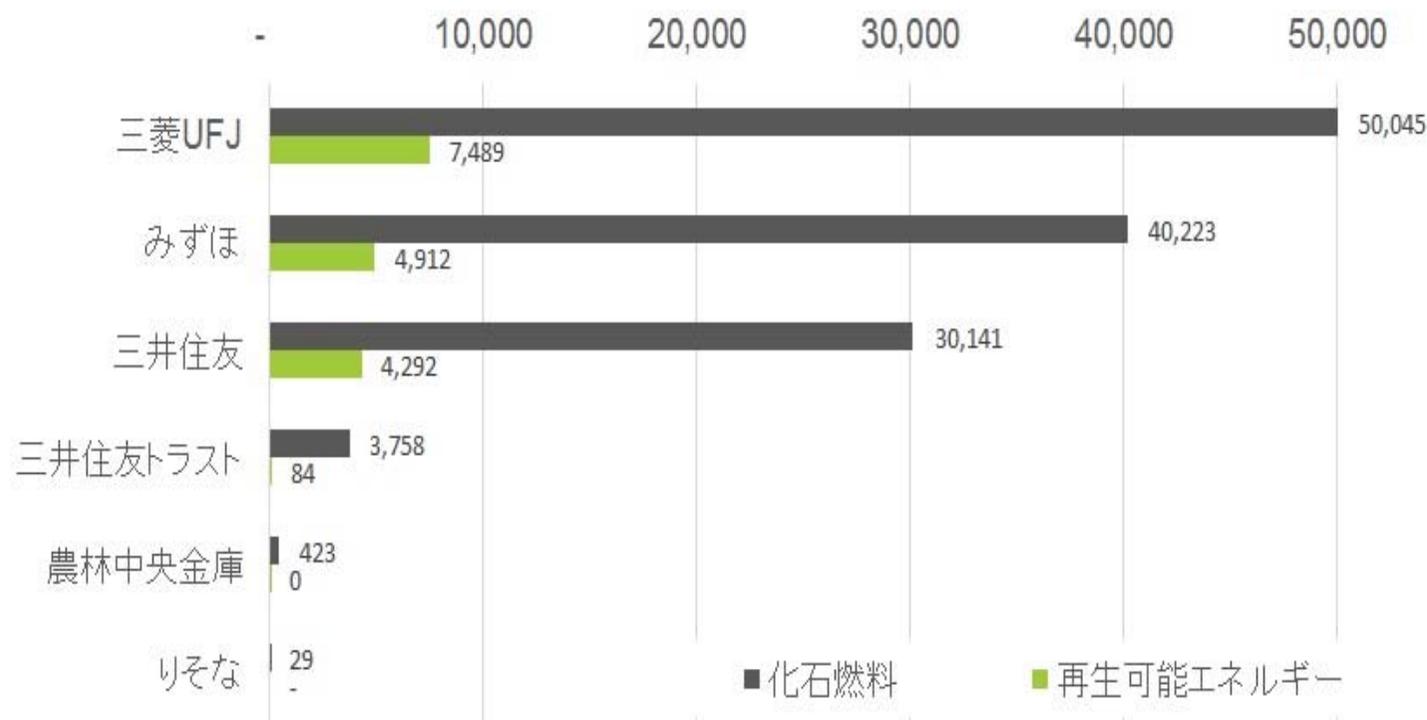


Fair Finance Guideのこれまでの成果(日本)

国内メディアからも高い注目 & 日経ソーシャルイニシアチブ大賞の国際部門ファイナリストにも選出

- 2015年11月11日 日経エコ맘『CSR(企業の社会的責任)の視点から銀行を選ぶ〜「フェア・ファイナンス・ガイド」1周年』
- 2015年11月10日 オルタナ『銀行の社会性を格付け「フェア・ファイナンス日本版」が1周年シンポ』
- 2015年11月10日 Quick ESG『大手25銀行による化石燃料への投融資は再生可能エネルギーの10倍』
- 2015年11月6日 朝日新聞『日本の銀行6グループ、化石燃料に15兆円投融資』
- 2015年10月28日 オルタナ『変わり始めた日本の金融機関——投融資方針の社会性改善に向けて』
- 2015年10月6日 Quick ESG『Fair Finance Guide Japan、大手金融機関7社の最新の社会性格付を公表』
- 2015年8月15日 サスナビ!『あなたのお金がお人殺しのために使われていたら?』
- 2015年7月3日 オルタナS『預けたお金が人権侵害や不法伐採に——銀行の社会性を格付け』
- 2015年6月29日 第1回「倫理的消費」調査研究会(5月20日開催)資料3「倫理的消費とは」(p.36にてFair Finance Guideが取り上げられています)
- 2015年6月24日 日本経済新聞 朝刊28・29面 日経ソーシャルイニシアチブ大賞特集
- 2015年4月8日 世界 2015年5月号『銀行の社会性はどうなっているのか?』
- 2015年4月8日 関西国際交流団体協議会編『NPO・NGOのキャンペーンディベロップメント』第5節『「社会変革ツール」としてのCSRの可能性』
- 2015年4月6日 日経Bpnetソーシャルビジネスの優れた取り組み、「大賞」候補出そろそろ 日経ソーシャルイニシアチブ大賞、第3回ファイナリスト発表
- 2015年3月25日 サステナビリティCSOフォーラム サステナビリティ紀行『フェアなお金の流れをつくる -Fair Finance Guide-』
- 2015年3月24日 日経ecomom[エコ맘]暮らしとマネーの基礎知識 第20回『銀行選びに「ソーシャル」な視点を加えてみよう』
- 2015年2月1日 THE BIG ISSUE JAPAN 256号『「Fair Finance Guide Japan」オープン』
- 2015年1月15日 グローバルネット 2015年1月号 FRONT『話題と人』コーナー『日本の大手銀行の社会性の格付けを実施した「フェア・ファイナンス・ガイド日本版」オープン』
- 2015年1月9日 毎日新聞 暮らしナビ・環境「各行競いCSR充実 運動発祥の地・オランダ」
- 2015年1月9日 毎日新聞 暮らしナビ・環境「銀行の投融資方針を格付け 気候変動や人権など13テーマ NGOがサイトで公表」
- 2015年1月8日 日経エコロジー 2015年2月号 トレンド&ニュース「環境・社会の投融資は低水準 NGOが大手銀行を格付け」
- 2014年12月20日・2015年1月5日 連合通信「あなたの預金はどう使われてる? 環境や人権の視点で銀行を選ぶ」
- 2014年12月15日 週刊金融財政事情「週間トピックス」
- 2014年12月11日 しんぶん赤旗「投融資先チェック 日本初 銀行の”公正さ”格付け NGO3団体がサイト開設」
- 2014年12月10日 朝日新聞「銀行の社会的責任『まだ不十分』 NGO調査、ネットで公表」
- 2014年12月8日 オルタナ「NGOがメガバンクの「社会性」を格付け——首位みずほFG、最下位りそな」

化石燃料・再生可能エネルギーへの投融資ギャップを明らかに



三菱UFJ、みずほ、三井住友、三井住友トラスト、農林中央金庫は再生可能エネルギー推進を掲げているが、実態とは乖離。

2015年11月アースパレード でも調査結果をアピール



脱石炭に動く世界の銀行

- バンク・オブ・アメリカ(米)、シティバンク(米)、クレディ・アグリコル(仏)、ウェルズ・ファーゴ(米)、モルガン・スタンレー(米)等が石炭への投融資の削減(=ダイベストメント)を表明。
- 国際NGOバンクトラックによる銀行への脱石炭宣言の呼びかけ「Paris Pledge」に、世界の21銀行、NGO183団体、市民10668人以上が賛同。



モルガンスタンレーの 脱石炭に向けた投資方針

「モルガン・スタンレーは低炭素経済への移行に貢献する責任を負っている」

「我々は融資や資本調達をよりクリーンで再生可能なエネルギー資源へとシフトし続け、石炭採掘および石炭火力発電所への融資比率を削減する」

今後に向けて

- パリ協定を受けて、地域における再生可能エネルギー普及への取り組みと、日本・世界全体での脱化石燃料への取り組みは車の両輪と認識
- 日本の大手金融機関が化石燃料からの投資回避(=ダイベストメント)を進めるために、NGOとして海外金融機関の動向に関するレポートの発行、金融機関への提言を実施予定
- 今後も「対話」を通じた投融資方針改善を継続

銀行の社会性を、まるっと格付け

FairFinanceGuide
Japan

<http://fairfinance.jp>

ご清聴ありがとうございました！